

目 次

第 1 章 序論

- 1-1 研究の背景
- 1-2 研究の目的
- 1-3 研究方法
- 1-4 研究の意義

第 2 章 森林の多面的機能と間伐

- 2-1 間伐を取り巻く現状 5
- 2-2 森林の多面的機能 6
- 2-3 間伐による森林の多面的機能向上の効果
8
 - 2-3-1 生物多様性保全機能の向上
9
 - (1) 植生種数の増加
 - (2) 植生種数増加の定量的効果
 - 2-3-2 土砂災害防止機能の向上
11
 - (1) 土壌流亡量の減少
 - (2) 土砂災害リスク減少の定量的効果
 - 2-3-3 水源涵養機能の向上
13
 - (1) 水資源貯留能力の向上
 - (2) 水資源貯留能力向上の定量的効果
 - 2-3-4 地球環境保全機能の向上
16
 - 2-3-5 間伐による定量的効果と考察

第 3 章 間伐による便益のコンジョイント分析

- 3-1 間伐の効果とコンジョイント分析
18
 - 3-1-1 間伐効果の性質
 - 3-1-2 環境経済評価の手法
19

3-1-3	コンジョイント分析適用の意義	
	21		
3-2	アンケート調査の設計	
	22		
3-2-1	コンジョイント分析の調査手順		
3-2-2	アンケート調査票の作成	
	25		
	(1) シナリオの設定		
	(2) その他の提示情報		
	(3) その他の設問		
3-2-3	事前調査	30
	(1) 水準の変更		
	(2) 記述の追加		
	(3) 記述の削除		
3-3	アンケート調査結果の分析	31
3-3-1	コンジョイント推計モデル	32
3-3-2	回答者の個人属性	34
3-3-3	推計結果	36
3-4	個人属性別分析	37
3-4-1	年齢別	38
	(1) 「年齢別」の分布割合		
	(2) 「年齢別」の推計結果		
	(3) 「年齢別」における各 MWTP の調整		
3-4-2	環境系別	41
	(1) 「環境系別」の分布割合		
	(2) 「環境系別」の推計結果		
	(3) 「環境系別」における各 MWTP の調整		
3-4-3	居住地別	45
	(1) 「居住地別」の分布割合		
	(2) 「多摩地域別」の推計結果		
	(3) 「東京都別」の推計結果		
3-5	多摩地域における間伐効果の算出	49
3-5-1	間伐効果の貨幣換算方法		
3-5-2	植生種数の増加における便益	51
3-5-3	土砂災害リスクの減少における便益	52

3-5-4	洪水時流量の減少における便益	53
3-5-5	多摩地域における間伐の総便益評価額	54
3-6	間伐の便益評価額の考察	
第4章 間伐材利活用計画の費用便益分析		
4-1	あきる野市における間伐材利活用計画	59
4-1-1	あきる野市における林業と森林の背景	
4-1-2	あきる野市バイオマスタウン構想	
4-1-3	間伐材利活用計画のシステムフロー	61
4-2	費用便益分析方法	62
4-2-1	シナリオ設定	63
4-2-2	分析対象とする費用便益	64
4-2-3	前提条件設定	65
4-3	間伐材利活用計画における経済面の費用便益	67
4-3-1	経済面の費用	67
4-3-2	経済面の便益	69
4-4	間伐材利活用計画における環境面の費用便益	70
4-4-1	環境面の費用	
4-4-2	環境面の便益	74
(1)	間伐による便益	
(2)	間伐材熟利用による便益	
4-5	間伐材利活用計画の費用便益分析	76
4-5-1	費用便益分析の結果	
4-5-2	費用便益分析の構成別考察	77
(1)	経済面・環境面別における考察	
(2)	プロセス別における考察	
4-5-3	費用負担に関する考察	83
4-5-4	費用便益分析結果のまとめ	85
第5章	結論	87
謝辞		91
添付資料 (1)	アンケート調査票 (本調査用)	92

添付資料(2) コンジョイント分析用 統計Rプログラム	109
添付資料(3) あきる野市バイオマスタウン構想	111
参考文献・参照URL	112